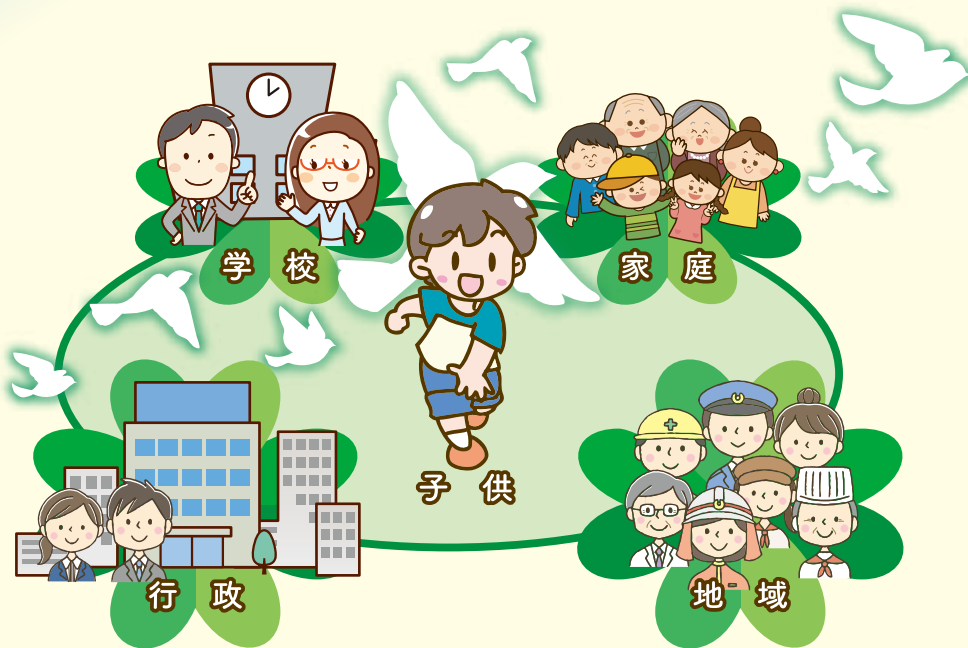


熊本の学び

「学ぶ意味」を問いながら、
「能動的に学び続ける力」を身に付けるために

2020年度から**学校の授業**が変わります。
熊本の未来の創り手となる子供たちの学び
「熊本の学び」が新たにスタートします。



熊本の学びでは、子供を中心に、学校、家庭、地域に行政を含めた
「五者」で連携した取組を大切にしていきます。

子供の学びを支える 4つの基本方針

方針1 子供たちに育みたい力を五者で共有します。

- 懇談会や地域の会議等を活用し、子供たちに育みたい力を説明します。
- 全校集会等を活用し、子供たちに身に付けてほしい力を説明します。
- 定期的に学校評価を実施し、子供たち、家庭、地域の意見を参考にします。



方針2 子供たちを「学びの主人公」として育てます。

- 「わくわく」が連続し、学んだことを次の学習や実生活に生かそうとする授業を行います。
- 日々の授業で、積極的にICTを活用します。
- グローバル社会を生き抜くための英語教育を充実します。
- 地域のよさ(宝)を生かした「総合的な学習の時間」を行います。



方針3 新たな県学力・学習状況調査を実施します。

- これまで実施していた県学力調査に、学習習慣や生活習慣に関する意識調査を加えて実施します。
- 一人一人の定着やつまずきが詳しく分かるよう個人票を提供します。
- 一人一人の定着に応じたプリントを提供します。



方針4 家庭学習の充実を図ります。

- 生涯にわたって自ら学ぶ子供を育てるための、学習習慣形成の素地となる環境づくりを行います。
- 家庭と連携し、自ら計画を立てて、家庭学習に取り組む子供の育成を目指します。



※裏面に、御家庭での取組内容等の(例)を掲載しておりますので、御覧ください。

生涯にわたって自ら学ぶ子供を育成するために！

生涯にわたって自ら学ぶ子供を育成するためには、幼児期からの様々な経験や人との関わりを通して、「認められる」「ほめられる」などの経験を多く積み重ね、自己肯定感を高めていくことが大切です。また、小学校の早い段階で学習習慣を確立することは、その後の生涯学習を見据えた主体的な学習者の育成の視点からも極めて重要です。

家庭学習習慣を形成するために、下の図の例のように、就学前から中学校までの15年間を見通した環境づくりをしましょう。

※お子さんの様子を見て、□にチェックしてみましょう。

夢・志・可能性に挑戦！



- 読書(読み聞かせ)に親しむ
- 外で楽しく遊ぶ
- 家族の一員としてお手伝いする
- 早寝・早起き・朝ごはん
- 地域行事へ参加する
- 動物・植物を育てる
- メディアをコントロールする
- 自分の体力や健康に関心をもって運動に挑戦する
- 地域に貢献する
- 自他の命を大切にする



就学前(0～5歳)

小学校(6～12歳)

中学校(13～15歳)

自ら計画を立て、学習できる子供を育成するために！

本県の子供たちは、各種調査から、「家で自分で計画を立てて学習すること」に課題があります。子供自らが、家庭学習に取り組むためには、学校での働きかけに加えて、家庭での保護者の支援は欠かせません。

そこで、各家庭では、子供たちが取り組んでいる内容やその取組自体を「認め、ほめ、励まし、伸ばす」という姿勢で関わっていただき、子供たちのやる気を喚起させましょう。



【子供と一緒にチェック】

- 家庭学習について、ルールを決めている。
- 机の上は、学習用具だけで集中できる状態になっている。
- 正しい姿勢で家庭学習に取り組んでいる。
- 家庭学習を、決まった時刻に始めている。
- 家庭学習ノートをもとに子供とのやり取りができています。

【保護者がチェック】

- 子供の家庭学習ノートを見ている。
- 子供の家庭学習ノートで、よくなった点、工夫した点をほめている。
- 子供が家庭学習を継続することを、認め、ほめ、励ましている。

※右上のチェックリストの内容を参考に、各家庭で、家庭学習を見直し、継続・充実させましょう。